

レジメン名：A + CHP 療法

【適応癌腫】 リンパ腫（未治療 CD30 ホジキンリンパ腫）
 【1 コースの期間】 21 日 【最大コース数】 8 コース
 【催吐性リスク】 高度

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)		
Rp 01	静脈内注射 グラニセトロン静注液シリンジ 3mg 「ワリ」	3 mg	静注	+00:00						
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 30分かけて ドキシソルピシン注 生理食塩液 100mL	50 mg/m ² 100 mL	点滴【化療】	+00:00						
Rp 03	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 2時間かけて 注射用エンドキサン 500mg 生理食塩液 500mL	750 mg/m ² 500 mL	点滴【化療】	+00:30						
Rp 04	点滴注射 フラッシュ用 生理食塩液 50mL	1 V	点滴静注	+02:30						
Rp 05	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 好中球減少・末梢神経障害で減量 [用時] アドセトリス点滴静注用 50mg 生理食塩液 100mL 体重65kgまでは生食100mL 生理食塩液 250mL 体重65kg以上は生食250mL	1.8 mg/kg 100 mL 250 mL	点滴【化療】 1時間かけて	+02:45						
Rp 06	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 朝12錠 昼8錠 5日分 ブレドニオン錠 5mg	100 mg/Body	※化学療法内服	+00:00 +04:00						
Rp 07	※化学療法 (薬剤部ミキシング) アドセトリス投与30分前 カロナル錠 200mg ポララミン錠 2mg	2 錠 1 錠	※化学療法内服	00:00						

【備考】

腎機能重症例 (CCr:15mL/min 以下) においてはアドセトリスの減量を考慮。

肝障害 (child-Pugh B or C) を有する症例での投与は推奨されない。

CYP3A4 阻害薬との併用は血中濃度上昇の可能性があるため、注意が必要。

末梢神経障害を呈した場合のアドセトリスの減量基準

G2 : 0.9mg/kg に減量、G3 : grade2 以下になるまで休薬、再開時は 0.9mg/kg に減量、G4 : 中止

ドキシソルピシンの累積投与量 (500mg/m²)